

# 第2期東海市国民健康保険データヘルス計画・ 第3期特定健康診査等実施計画 最終評価

令和5年9月 国保課・健康推進課作成

## 1. 計画の最終評価にあたって

第2期東海市国民健康保険保健事業実施計画(以下「データヘルス計画」という)は、第1期東海市国民健康保険保健事業実施計画(2016年度、2017年度)に引き続き、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針の一部改正について」に基づき、平成30年に策定されたもので、特定健診・医療レセプト情報等を活用し、対象者の健康レベルに合わせた効果的な保健事業の実施を図るための計画です。

この計画の基本目標は、「健康寿命の延伸のため、若い世代からの受診者増加に向けた啓発」と、「糖尿病・高血圧の重症化予防に向けた取り組みを中心に医療費の削減を図る」ことにあります。その基本目標を実現するための中目標として「特定健康診査と特定保健指導の利用率の増加」、「生活習慣病重症化予防事業の実施」及び「医療費の削減」の3点を掲げ、それぞれの目標に対して保健事業を実施しています。

データヘルス計画では、計画期間を平成30年度から令和5年度としています。毎年度末に個別保健事業の実施について評価を行い、令和2年度には、中間評価を行いました。今年度は計画の最終年度にあたる年で、計画全体の評価を行い、次期データヘルス計画策定にむけて課題を抽出します。

## 2. 個別保健事業の結果

### ①特定健康診査・特定健診未受診者対策

目的及び概要		対象者																				
		年齢	資格																			
【目的】受診率の向上による、メタボに着目した生活習慣病の発症や重症化予防 【概要】40～74歳の被保険者に対し、市内医療機関で個別健診を実施。		40～74歳	被保険者																			
【目的】受診率の向上による被保険者の健康保持増進 【概要】受診勧奨通知、及び40～49歳の方には電話勧奨、インセンティブの実施。		40～74歳	前年度未受診かつ通知発送日時点で把握の未受診者																			
実施内容																						
2018年度～2019年度		実施時期	実施場所																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内医療機関にて個別方式での受診促進</li> <li>未受診者へアンケート実施に向けた検討</li> <li>がん検診と連動した受診率の向上(がん検診と同時受診できる医療機関の情報提供等)</li> <li>国保新規加入者へ、国保課窓口で受診案内チラシを配布</li> </ul>		6～10月、2月	市内医療機関 国保課窓口																			
①40～74歳の未受診者へ再通知ハガキを送付 ②壮年期の未受診者へ電話勧奨を実施 ③インセンティブの実施。		①② 1月 ③ 12月	—																			
			2020年度～2023年度																			
			継続実施																			
			①2022年度から健診未受診者への受診勧奨ハガキを対象者ごとに送り分けしている ②継続実施 ③未実施																			
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	最終目標	達成度														
実績/アウトプット目標	受診勧奨者の受診率	7.3% (617人/8,485人)	6.9% (516人/7,441人)	13.1% (1,143人/8,708人) ※	9.3% (705人/7,612人)	11.2% (774人/6,880人)	受診勧奨者の受診率30.0%	横ばい														
	40～45歳の未受診者への電話勧奨	484人	479人	211人	218人	94人																
アウトカム	特定健診受診率	48.6%	48.7%	47.6%	46.3%	49.6% (暫定値)	特定健診受診率60%															
	過去5年間で一度も受診していない者	3,482人	3,730人	3,626人	3,598人	4,729人 (暫定値)																
※2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年と実施期間が違うもの																						
<div style="text-align: center;"> <p>特定健診受診率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018</td> <td>48.60%</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>48.70%</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>47.60%</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>46.30%</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>49.60%</td> </tr> <tr> <td>最終目標</td> <td>60.00%</td> </tr> </tbody> </table> </div>									年	受診率	2018	48.60%	2019	48.70%	2020	47.60%	2021	46.30%	2022	49.60%	最終目標	60.00%
年	受診率																					
2018	48.60%																					
2019	48.70%																					
2020	47.60%																					
2021	46.30%																					
2022	49.60%																					
最終目標	60.00%																					
考評					今後の取り組みの方向性																	
2022年度は、健診未受診者に対して、対象者分析を実施した上で、受診勧奨ハガキを送付したため、より受診への動機づけとなり、受診率が向上したと思われる。					特定健診受診率はほぼ横ばいで推移している。全国的にみれば比較的高い受診率であるが、個別通知内容の充実や、未受診者受診勧奨を効果的に行い、更に受診率向上を目指したい。																	

## ②特定保健指導

目的及び概要					対象者																	
					年齢	資格																
【目的】特定保健指導対象者の、生活習慣改善の行動変容による健康状態改善 【概要】特定健診の結果により、積極的・動機付け支援に分けて保健指導を実施。未利用者には電話・訪問による保健指導を実施。					40～74歳	特定保健指導基準該当者																
実施内容																						
2018年度～2019年度			実施時期	実施場所		2020年度～2023年度																
<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい情報提供(レーダーチャートの活用)</li> <li>・結果返却時に初回面接実施</li> <li>・市内二会場での面接、訪問実施</li> <li>・初回に食生活・運動応援メニューを提供</li> <li>・運動ステーションの回数券発行</li> <li>・インセンティブ内容の検討</li> </ul>			7月から	しあわせ村市民体育館		継続実施																
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	最終目標	達成度														
実績/アウトプット目標	初回面接利用者数	373人 対象者：864人	327人 対象者：743人	344人 対象者：736人	297人 対象者：698人	299人 対象者：732人 (暫定値)	初回面接利用者：600人	横ばい														
アウトカム	特定保健指導の利用率	43.2%	44.0%	46.7%	42.6%	40.8% (暫定値)	特定保健指導の利用率：60% (達成見込み)															
<p style="text-align: center;"><b>特定保健指導 利用率</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018</td> <td>43.2%</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>44.0%</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>46.7%</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>42.6%</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>40.8%</td> </tr> <tr> <td>最終目標</td> <td>60.0%</td> </tr> </tbody> </table>									年次	利用率	2018	43.2%	2019	44.0%	2020	46.7%	2021	42.6%	2022	40.8%	最終目標	60.0%
年次	利用率																					
2018	43.2%																					
2019	44.0%																					
2020	46.7%																					
2021	42.6%																					
2022	40.8%																					
最終目標	60.0%																					
考評					今後の取り組みの方向性																	
<p>健診結果の返却時に初回面接を実施することで高い利用率を維持していたが、コロナの感染者が増加した時期は、面接を拒否されることもあり、健診結果の郵送希望する方が多かった。今後は未利用者に対するの勧奨方法及び安心して保健指導が受けられることができる環境整備が課題である。</p>					<p>比較的高い利用率で推移してきたが、2021年度以降は減少に転じていること、国の目標値(60%)には大きな差異があることから、引き続き利用率向上のための取り組みは継続していく。その一つとして、様々な生活様式の方に対応できるよう、オンラインで保健指導を実施していく。</p>																	

### ③糖尿病性腎症重症化予防

目的及び概要		対象者																				
		年齢	資格																			
<p>【目的】糖尿病・腎臓病の重症化予防・受診勧奨、保健指導</p> <p>【概要】対象者へ講演会、保健指導等の実施。かかりつけ医へ指導内容を報告し、医療機関での保健指導と連携した取組みとする。未受診者等へは電話等で支援を実施。</p>		40～74歳	HbA1c6.5以上または空腹時血糖126以上の者																			
実施内容																						
2018年度～2019年度		実施時期	実施場所																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者を講演会への参加者、不参加者、保健指導参加者、未受診者に分け、保健師及び栄養士が保健指導を実施。</li> <li>保健指導についてはかかりつけ医との連携を取りながら実施。</li> <li>保健指導参加者は翌年以降も継続して糖尿病管理状況を把握する。</li> </ul>		通年	しあわせ村 あいち健康プラザ (2018年度のみ) 市内医療機関等																			
		2020年度～2023年度																				
		継続実施																				
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	最終目標	達成度														
実績/アウトプット目標	糖尿病重症化予防講演会の実施参加者	年1回実施 参加者： 90人/1,008人	年1回実施 参加者： 85人/926人	未実施	未実施	年1回実施 参加者： 123人/908人	糖尿病重症化予防講演会の実施 年1回、 参加者：80人	横ばい														
	保健指導の参加者	28人	19人	19人	14人	10人	保健指導の参加者：30人															
アウトカム	新規透析患者のうち糖尿病性腎症の割合	33.3% (2人/6人)	45.5% (5人/11人)	27.3% (3人/11人)	62.5% (5人/8人)	23.5% (4人/17人)	新規透析患者のうち糖尿病性腎症の割合：30%															
<p>新規透析患者のうち 糖尿病性腎症者の割合</p> <table border="1"> <caption>新規透析患者のうち糖尿病性腎症者の割合</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>45.5%</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>27.3%</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>62.5%</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>23.5%</td> </tr> <tr> <td>最終目標</td> <td>30.0%</td> </tr> </tbody> </table>									年	割合	2018	33.3%	2019	45.5%	2020	27.3%	2021	62.5%	2022	23.5%	最終目標	30.0%
年	割合																					
2018	33.3%																					
2019	45.5%																					
2020	27.3%																					
2021	62.5%																					
2022	23.5%																					
最終目標	30.0%																					
考評				今後の取り組みの方向性																		
<p>講演会は比較的関心のある者もいるが、保健指導については年々参加者が減少している。事業対象者については検討の必要がある。また保健指導に参加しはじめても中断者が多いことから、事前の動機づけや見通しをわかりやすく伝えていくことが必要である。</p>				<p>県や国と比較しても、被保険者1万人あたりの新規透析患者の割合が多いため、腎症重症化の事業の必要性はあるが、現状では保健指導プログラム参加希望者が少なく、効果的な事業展開ができていないことから、2023年度以降は対象者の見直しや実施方法を検討していく。</p>																		

#### ④高血糖・高血圧の重症化予防受診勧奨通知

目的及び概要		対象者																				
		年齢	資格																			
<p>【目的】糖尿病・高血圧の受診勧奨値でも未受診の方に対し、受診勧奨を行い、医学的管理の下、重症化を防ぐ。</p> <p>【概要】特定健診受診時に医療受診がなく、糖尿病・高血圧について受診勧奨値であった方の医療レセプトを確認し、未受診の場合、受診勧奨通知を送付し、受診結果を報告してもらう。</p>		40～74歳	HbA1c6.5以上または空腹時血糖126以上の者、または血圧Ⅱ度以上の者																			
実施内容																						
2018年度～2019年度		実施時期	実施場所																			
<p>・健診終了後、医療受診状況を確認し、未受診の場合は受診勧奨通知を送付し、受診へつなげる。</p> <p>・通知後、受診報告及び医療レセプトを確認し、未受診の場合は電話等による受診勧奨を行う。</p>		1月	-																			
		2020年度～2023年度																				
		継続実施																				
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	最終目標	達成度														
実績/アウトプット目標	糖尿病・高血圧受診勧奨レベル者のうち受診勧奨者	344人	339人	203人	221人	157人	80人	改善														
アウトカム	糖尿病・高血圧受診勧奨レベル者のうち未受診者	824人/7,410人	878人/7,598人	852人/7,155人	771人/7,179人	761人/7,086人	700人															
<div style="text-align: center;"> <p>糖尿病・高血圧受診勧奨レベル未受診者</p> <table border="1"> <caption>糖尿病・高血圧受診勧奨レベル未受診者</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018</td> <td>824人</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>878人</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>852人</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>771人</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>761人</td> </tr> <tr> <td>最終目標</td> <td>700人</td> </tr> </tbody> </table> </div>									年度	人数	2018	824人	2019	878人	2020	852人	2021	771人	2022	761人	最終目標	700人
年度	人数																					
2018	824人																					
2019	878人																					
2020	852人																					
2021	771人																					
2022	761人																					
最終目標	700人																					
考評				今後の取り組みの方向性																		
<p>受診勧奨レベル者のうち医療機関未受診者は減少している。しかし、血糖の値、血圧の値ともに受診勧奨レベルの者は目標値より2倍近く多く、未受診者も目標値よりも多い。</p>				<p>受診勧奨を継続し、医療の必要な方には、適切に医療に繋がってもらうよう促すとともに、血糖コントロール、血圧コントロールができるよう予防的な介入も検討していく。</p>																		

⑤がん検診

目的及び概要		対象者																				
		年齢	資格																			
<p>【目的】 がんの早期発見・治療へつなげる            【概要】 市内医療機関および子宮・胃は集団検診も実施。</p>		住民登録のある対象年齢の者	子宮20歳以上 乳30歳以上 胃・大腸40歳以上 前立腺50歳以上																			
実施内容																						
2018年度～2019年度		実施時期	実施場所																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国保課窓口で新規加入者へ受診案内を配布</li> <li>・特定健診と連動した受診率の向上(特定健診と同時受診できる医療機関の情報提供等)</li> </ul>		6月から2月	市内医療機関																			
		2020年度～2023年度																				
		継続実施																				
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	最終目標	達成度														
実績/アウトプット目標	広報、ホームページ掲載、乳幼児健診で啓発	-	-	-	-	-	広報、ホームページ掲載、乳幼児健診で啓発	悪化														
	アウトカム	胃・肺・大腸・子宮・乳がんの平均受診率	11.5%	10.7%	9.6%	10.0%	9.8%		胃・肺・大腸・子宮・乳がんの平均受診率：15.0%													
	胃	4.2%	3.6%	3.1%	3.2%	3.2%																
	肺	14.8%	14.4%	14.5%	13.8%	13.3%																
	大腸	13.6%	13.1%	12.2%	12.4%	12.2%																
	子宮	12.8%	10.6%	8.7%	9.7%	9.5%																
	乳	11.9%	12.0%	9.5%	11.1%	10.9%																
<p>がん検診の平均受診率</p> <table border="1"> <caption>がん検診の平均受診率</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>平均受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018</td> <td>11.5%</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>10.7%</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>9.6%</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>9.8%</td> </tr> <tr> <td>最終目標</td> <td>15.0%</td> </tr> </tbody> </table>									年	平均受診率	2018	11.5%	2019	10.7%	2020	9.6%	2021	10.0%	2022	9.8%	最終目標	15.0%
年	平均受診率																					
2018	11.5%																					
2019	10.7%																					
2020	9.6%																					
2021	10.0%																					
2022	9.8%																					
最終目標	15.0%																					
考評				今後の取り組みの方向性																		
<p>2020年度は新型コロナウイルス感染の影響を強く受け、受診率の低下がみられたが、以降も2020年より前の受診率に戻ることなく、低下傾向にある。</p>				<p>受診しやすい検診体制整備のため、複数の検診同時受診（集団検診）のWEB申込の導入、胃内視鏡検診の導入（個別検診）などをすすめていく。また更なる受診率向上を目指し、効果的な通知や啓発を検討していく。</p>																		

⑥頻回・重複受診者対策

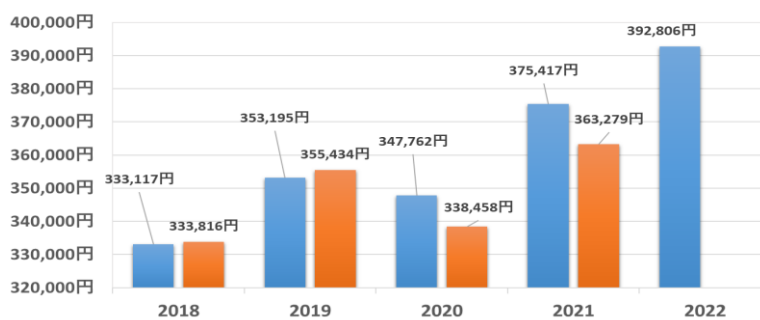
目的及び概要		対象者					
		年齢	資格				
<p>【目的】 不適正受診の減少による医療費削減            【概要】 医療機関等の適正受診について、周知・啓発を行う他、重複受診者・重複服薬者を適正受診につなげる。</p>		40～74歳	各基準該当者				
実施内容							
2018年度～2019年度	実施時期	実施場所	2020年度～2023年度				
頻回・重複受診者を把握し、適切な受診をサポートするため、健康相談事業の案内等を実施。	具体的な事業内容の検討の際に合わせて検討します。	具体的な事業内容の検討の際に合わせて検討します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国保連合会の保健事業を活用し事業実施</li> <li>・2022年度から愛知県の「保険調剤薬局による健康相談モデル事業」に参加し、服薬指導対象者に対して、健康相談の案内を送付している。</li> </ul>				
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	最終目標	達成度
実績/アウトプット目標	-	重複・頻回・重複投薬受診者に訪問指導を実施	重複・頻回・重複投薬受診者に訪問指導を実施	重複・頻回・重複投薬受診者に訪問指導を実施	重複・頻回・重複投薬受診者に訪問指導を実施	重複・頻回・重複投薬受診者に訪問指導を実施	比較不可
アウトカム	-	訪問指導者を適正受診に指導する	訪問指導者を適正受診に指導する	訪問指導者を適正受診に指導する	訪問指導者を適正受診に指導する	訪問指導者を適正受診に指導する	
考評			今後の取り組みの方向性				
<p>訪問指導に関しては、重複頻回受診者に対して十分な保健指導を実施することができなかった。            訪問指導とは別に昨年から愛知県のモデル事業に参加し、39名の服薬指導対象者に適正服薬に関する通知や健康相談の案内を送付した。</p>			<p>訪問指導に関しては、訪問のアポイントをとる時点で断られることが多かったため、対象者を増やしたり、抽出条件を変更する等で対面で保健指導できるよう工夫していく。            今後も愛知県のモデル事業に参加し、服薬適正化に努める。</p>				

⑦医療費通知

目的及び概要		対象者	
		年齢	資格
【目的】医療機関の請求ミス等の防止による医療費の適正化 【概要】受診した医療機関等のお知らせ		～74歳	医療受診者
実施内容			
2018年度～2019年度	実施時期	実施場所	2020年度～2023年度
年6回（4月・6月・8月・10月・12月・2月）に通知ハガキを送付	年6回（4月・6月・8月・10月・12月・2月）	—	継続実施

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	最終目標	達成
実績/アウトプット目標	医療費通知実施回数	年6回実施	年6回実施	年6回実施	年6回実施	年6回実施	年6回実施	
アウトカム	東海市	333,117円	353,195円	347,762円	375,417円	392,806円	被保険者一人あたりの年間医療費を県平均以下にする。	悪化
	県平均	333,816円	355,434円	338,458円	363,279円	-		

被保険者一人あたりの年間医療費



考評	今後の取り組みの方向性
2020年度、2021年度は年間医療費が県平均よりも高くなっている。また、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、医療機関への受診控えがあったためか、前年度と比較し、減少しているが、全体をみると、年々医療費が増加している傾向にある。	引き続き医療費通知の送付を継続し、医療費の適正化に努める。



## ⑧ジェネリック医薬品の差額通知

目的及び概要		対象者																				
		年齢	資格																			
<b>【目的】</b> 医薬品・調剤料自己負担の軽減、医療費削減 <b>【概要】</b> 先発医薬品からジェネリック医薬品に切り替えた際の自己負担額の差額を通知		～74歳	各基準該当者																			
実施内容																						
2018年度～2019年度		実施時期	実施場所																			
年4回通知ハガキを送付		年4回	—																			
		2020年度～2023年度																				
		継続実施																				
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	最終目標	達成度														
実績/アウトプット目標	実施回数	本人薬剤費削減額が100円以上になる方に年4回（6月・7月・11月2回）合計で2,085通送付	本人薬剤費削減額が100円以上になる方に年4回（6月・7月・10月・11月）合計で1,584通送付	本人薬剤費削減額が100円以上になる方に年4回（6月・7月・10月・11月）合計で1,760通送付	本人薬剤費削減額が100円以上になる方に年4回（6月・7月・10月・翌年2月）合計で1,439通送付	本人薬剤費削減額が100円以上になる方に年5回（6月・7月・10月・11月・翌年2月）合計で1,496通送付	年4回実施	改善														
アウトカム	ジェネリック医薬品普及率	79.83%	82.41%	84.66%	87.60%	85.79%	ジェネリック医薬品普及率：80%															
<p style="text-align: center;">ジェネリック医薬品普及率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>普及率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018</td> <td>79.83%</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>82.41%</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>84.66%</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>87.60%</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>85.79%</td> </tr> <tr> <td>最終目標</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table>									年次	普及率	2018	79.83%	2019	82.41%	2020	84.66%	2021	87.60%	2022	85.79%	最終目標	80.0%
年次	普及率																					
2018	79.83%																					
2019	82.41%																					
2020	84.66%																					
2021	87.60%																					
2022	85.79%																					
最終目標	80.0%																					
考評				今後の取り組みの方向性																		
ジェネリック医薬品普及率については2018年度と比較して5%以上向上し、最終目標の目標値を達成できている。				普及率の向上のために引き続き事業を継続し、処方率の低い医療機関への働きかけや制度の普及啓発活動に努めていく。																		

⑨普及啓発活動

目的及び概要		対象者																			
		年齢		資格																	
<p>【目的】生活習慣病や健診の情報提供による健診受診率の向上 【概要】対象者への啓発及び市民への健診受診による健康管理の意識付けのための各種事業を実施</p>		<p>①40歳到達者 ②40～74歳 ③全市民</p>		<p>国保新規加入者</p>																	
実施内容																					
2018年度～2019年度		実施時期		実施場所		2020年度～2023年度															
<p>①保健なんでも相談の開催回数増 ②40歳到達者への健診通知に啓発チラシを同封 ③国保加入時に窓口で啓発チラシを配布 ④広報とうかいに啓発記事を掲載 ⑤イベントや健康教育の場で保健師による健康教育等での啓発 ⑥実施医療機関等でポスター掲示、のぼり等の啓発資材活用の検討 ⑦乳幼児健診通知へ各種健(検)診受診案内を同封して啓発</p>		<p>通年</p>		<p>しあわせ村 国保課窓口 市内医療機関</p>		<p>継続実施</p>															
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	最終目標	達成度													
実績/アウト プット目標	保健なんでも相談	年14回 154人参加	年13回 139人参加	年14回 129人参加	年11回 124人参加	年15回 139人参加	実施内容検討	横ばい													
	広報掲載	年9回 (特定：2回、 なんでも7回)	年9回 (特定：1 回、なんでも 8回)	年9回 (特定：1 回、なんでも 8回)	年9回 (特定：1 回、なんでも 8回)	年11回 (特定：1回、 なんでも10回)															
	広報折込み チラシ	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回															
	その他	・40歳到達者の 検診通知に啓 発チラシ同封 ・ホームページ 掲載	・40歳到達者の 検診通知に啓 発チラシ同封 ・ホームページ 掲載	・40歳到達者の 検診通知に啓 発チラシ同封 ・ホームページ 掲載	・40歳到達者の 検診通知に啓 発チラシ同封 ・ホームページ 掲載	・40歳到達者の 検診通知に啓 発チラシ同封 ・ホームページ 掲載															
アウトカム	40歳到達者の 健診受診率	29.1% (58人/199人)	19.5% (32人/164人)	21.8% (36人/165人)	29.6% (40人/135人)	26.7% (36人/135人)	40歳到達者の 検診受診率： 27.0%														
<div style="text-align: center;"> <p><b>40歳到達者の検診受診率</b></p> <table border="1"> <caption>40歳到達者の検診受診率</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018</td> <td>29.1%</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>19.5%</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>21.8%</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>29.6%</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>26.7%</td> </tr> <tr> <td>最終目標</td> <td>27.0%</td> </tr> </tbody> </table> </div>								年	受診率	2018	29.1%	2019	19.5%	2020	21.8%	2021	29.6%	2022	26.7%	最終目標	27.0%
年	受診率																				
2018	29.1%																				
2019	19.5%																				
2020	21.8%																				
2021	29.6%																				
2022	26.7%																				
最終目標	27.0%																				
考評				今後の取り組みの方向性																	
<p>令和2年度からフレッシュ健診が開始され、以前より若年から受診できるようになったが、受診者は例年あまり変わらず(リピーター)、新規で受診する者は少なく、受診率は横ばいである。</p>				<p>若年層から受診する習慣をつけ、特定健診への受診にもつなげていきたい。広報等は若年層の目に触れる機会が少ないと考えられるため、SNS等の活用等、手軽に情報が取得できるような方法も検討していく。</p>																	

### 3. 第2期データヘルス計画の中目標評価

#### ①特定健康診査受診率の向上と特定保健指導利用率の増加

特定健康診査及び特定保健指導については、他自治体と比べ、高い利用率であります。第2期データヘルス計画における最終目標を達成できていません。また、第2期データヘルス計画策定時において目標としてあげられていた若い世代(40～50歳代)の受診者増加においても改善していないことから、今後も若い世代への啓発を積極的に行っていく必要があります。

#### ②生活習慣病重症化予防事業の実施

糖尿病・高血圧受診勧奨レベルの者及び未受診者についても、第2期データヘルス計画の最終目標値よりもかなり多く、目標を達成できていません。本市においては、新規透析患者の割合が高い傾向にあり、引き続き重症化予防事業について取り組んでいく必要があります。また、がん検診においても、最終目標と比較して受診率がかなり低いことから積極的に啓発及び受診につなげていく必要があります。

#### ③医療費の削減

医療費削減の取り組みとしては、重複頻回受診者訪問指導、ジェネリック医薬品差額通知、医療費通知の送付を行ってきましたが、依然として県平均よりも医療費が高い傾向にあります。また、年々医療費が増加しており、今期の医療費削減の取り組みとして行った保健事業の内容の見直しや他の事業との連携などについても検討していく必要があります。

### 4. 第2期データヘルス計画全体の総括・次期データヘルス計画策定にむけて

第2期データヘルス計画において、個別保健事業における目標については、明記され評価してきましたが、計画全体における具体的な目標値が示されていなかったため、個々の事業を実施してきたことによる全体の効果を示すことができませんでした。次期計画では、計画全体の目標を示し、個々の事業を実施してきたことによる一体的な評価を行えるようにします。また、個別保健事業の目標値について、実績値から大きく外れていたものもあったため、次期計画では、より現実的な目標を設定します。